

愛知株式会社における デザイン開発とその保護の取り組み

愛知株式会社 執行役員 研究開発本部 本部長 熊澤 工
研究開発本部 知財 G 次長 福島伸泰

1 愛知株式会社の概略と歴史

1) 公共・教育施設向け家具の専門メーカーとしての歩み

当社は1939年の創業以来、公共施設における専門家具メーカーとして様々な施設に集いの空間づくりをテーマに製品を提供してきました。来年で85周年を迎える当社にとっての祖業はホール・劇場用シートに始まり、戦後の1940年代後半には映画ブームによって各地の映画館・劇場に多数納品し、1950年代には全国に営業所を開設して事業領域を広げました。[写真1]

1959年には創立20周年を機に社名を愛知木工株式会社から愛知株式会社に変更し、木製家具主体のメーカーから現在につながる鋼製家具へと本格的にシフトしました。

ホール・劇場用シートの開発を継続する一方で、1964年には近代の折りたたみイスの基となるFC-1200シリーズ [写真2] がGOOD DESIGN賞を受賞して以降、同賞受賞は新製品開発のベンチマークとなり、累計受賞数は174アイテムとなっています。(2023年4月現在)。

また、1968年に通産省より日本初の学校用机・イスのJIS規格表示許可工場第1号に認定されて以降は、教育関連施設向け製品も強化していきました。

2) “世界初”の機能をもった製品開発とグローバル市場への取り組み

1970年代からは“世界初”の機能を持った製品開発に取り組み、天板を回転させて収納するフラッピングテーブルやステンレスパイプ製による軽量なスタッキングチェアを生み出しました。[写真3] 今では、それらが集会スペースで使われる家具のス



●写真1 1950年代 新宿ミラノ座



●写真2 1960年代



●写真3 1970年代



●写真4 ORGATEC 2018/Germany



ORGATEC 2022/Germany